

科目名		授業形態	担当教員名	
社会福祉学		講義	岡本 正平	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
福祉・医療・保健の連携の重要性の中で、「ノーマライゼーション・リハビリテーション」理念を基礎に、知識としての「社会福祉学」を単に制度・サービスの紹介・説明にとどまらず、事例を採り入れ、できるだけ身近なものとする。 社会福祉関連法規、制度について理解を深め、援助者としての援助観・援助方法も併せて学習することを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 社会保障制度の歴史と考え方を説明できる。 2. 社会保障制度の体系と意義を説明できる。 3. 障害者の自立を支える制度の内容を説明できる。 4. 介護保険制度について説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	総論 社会福祉を学ぶこととは			
2	概論Ⅰ 社会福祉の歩みとキーワード			
3	概論Ⅱ 社会福祉基礎構造改革以降の動き			
4	概論Ⅲ 社会福祉関連法と施設・機関及び福祉人材(専門職)			
5	地域福祉 その意味と推進について			
6	社会保障制度Ⅰ 基本的な考え方			
7	社会保障制度Ⅱ 社会保険制度及び生活保護制度			
8	児童福祉Ⅰ 児童をとりまく現状と課題			
9	児童福祉Ⅱ 法律と社会資源他			
10	障害者福祉Ⅰ 現状とその捉え方			
11	障害者福祉Ⅱ 制度とサービス			
12	高齢者福祉Ⅰ 高齢社会の現状			
13	高齢者福祉Ⅱ 要援護高齢者と介護問題			
14	高齢者福祉Ⅲ 老人福祉関連法(介護保険法を除く) 他			
15	高齢者福祉Ⅳ 介護保険制度			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	社会保障全般にわたる理解内容を評価基準とする。		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
よくわかる社会福祉 第11版	山縣文治他 編	ミネルヴァ書房		
自由記載	レジュメ・講義(参考)資料を配布する。			
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
自由記載				
備考				